

## 地域での支え合いの体制づくりをしています。

少子高齢化、ひとり暮らし高齢者の増加、地域での孤立化などの問題を踏まえ、共に支え合える地域づくりを目的として、現在地域支え合い体制づくり事業が進められています。各モデル地区の状況に合わせ、見守りの体制づくり、防犯対策、防災対策、介護予防対策など、様々な活動がされています。今回は2地区の取り組みを紹介します。

### ◎方城25区（矢久保地区）

#### 防災の取り組み（災害時避難訓練）



彦山川氾濫時に地区全体が浸水区域とされている矢久保地区では、モデル地区の指定を受けてから、防災への取り組みを続けています。防災DIGの実施や地域の防災マップの作成をとあして、住民の防災に対する意識を高め、昨年5月26日に避難訓練を実施しました。避難訓練では、消防団消防車のアナウンスで避難開始。3グループがそれぞれの集合場所に集結し、一時避難所の職員区集会所や方城分館、伊方小学校へ徒歩や乗用車で向かいました。この日は地元住民をはじめ、消防団、警察、役場・社協職員など総勢約60名での訓練になりました。

訓練をとあして浮上した課題を検討し、地域の避難マニュアルの作成をすすめています。



方城25区 田島 靖 区長

矢久保地区は世帯数が23世帯の小さな区です。しかし、区の中には見守りの必要な人がいたり、浸水区域になっていて豪雨時には避難の必要があり、地域の住民同士での連携が必要でした。支え合い体制づくり事業をとあして、さまざまな取り組みをする中で、地域の人と人とのつながりができたのが一番の収穫だったと思います。

### ◎赤池4区（四区きずな会）

#### 防犯の取り組み（防犯パトロール）



平成24年度にモデル地区での取り組みを始めた赤池4区では、要支援者の見守りマップの作成からはじめ、地域に不法投棄のある場所があったり、上野小学校があることから、自主防犯組織を立ち上げました。県の補助金なども利用して、看板や防犯ステッカー、パトロールジャンパーを作成。住民一体となって不審者を寄せ付けない地域づくりをすすめています。この日は週1回の定期パトロール日、5人のメンバーが公民館に集結。下校児童を見守りました。